

東京宣言及び行動計画総括レビュー

2012. 7. 27

東京宣言	行動計画	具体的成果
1. 対話と協力	①日・中米フォーラム	第10回(2006)、第11回(2008)、第12回(2009)、第13回(2010)、第14回(2011)を開催
	②首脳・外相級の対話	サカ・エルサルバドル大統領訪日(2006.10)、フェルナンデス・ドミニカ共和国大統領訪日(2006.6)、ブリッツ・グアテマラ外相訪日(2006.2)、日・パナマ外相会談(2007. 8, 2010. 1 いずれもFEALACの機会)、日・SICA外相会合(2010.1)、日・コスタリカ外相会談(2010. 9, 2011.12)、日・ベリーズ外相会談(2010.9)、 コロン・グアテマラ大統領訪日(2010.10) 、 チンチージャ・コスタリカ大統領訪日(2011.12) 、カバジェロス・グアテマラ外相訪日(2012.5)
	③FEALAC	<ul style="list-style-type: none"> ・2010年1月、日本は第4回FEALAC外相会合を主催。ドミニカ共和国加盟(2007.8)、ホンジュラスが加盟(2011.8)。 ・FEALAC若手指導者招へい計画を6回実施(2005.12(環境と開発)、2007.1(CDM)、2008.1(CDM)、2008.10(環境ビジネス)、2011.2(環境ビジネス・防災))、2011.10(環境ビジネス・防災)。 ・2010年3月、FEALAC環境ビジネス・ハイレベル会合準備会合を実施。2012年11月、FEALAC環境ビジネス・ハイレベル会合を実施予定。 ・ECLACへの委託調査「中南米の対アジア太平洋地域貿易・投資戦略: サプライチェーンへの参加増大のための「市場主導」統合」実施 ・ラテンアメリカ協会への委託調査「アジアと中南米の経済関係強化のための方策」実施
2. 平和と民主主義定着	①民主主義の定着支援	<ul style="list-style-type: none"> ・大統領選挙監視支援(ホンジュラス2005.11、ニカラグア2006.11、グアテマラ2007.9、エルサルバドル2009.3、グアテマラ2011.9) ・国連ラテンアメリカ犯罪防止研修所(ILANUD)における研修(2005-07、計90名受け入れ)。第2フェーズ(2008-2010)。 ・グアテマラ国別研修: 公共政策の計画立案能力向上(2005-07) ・グアテマラ専門家派遣: 行政能力強化のためのプロジェクト形成・計画・モニタリングアドバイザー(2008-09) ・コスタリカ「ラテンアメリカにおける刑事司法制度改善プロジェクト(技プロ)(2008-2011)
	②治安の改善・強化	<ul style="list-style-type: none"> ・検察庁組織開発強化計画(ニカラグア: 見返り資金約150万ドル)、検察庁科学技術開発計画(ホンジュラス、ノンプロ見返り資金約100万ドル) ・市民安全に関する新政策推進計画(エルサルバドル: 見返り資金約170万ドル)(2005-) ・JBPP: エルサルバドル「地域警察マニュアル策定アドバイザー」、ホンジュラス「地域警察活動支援プロジェクト」、テーマ別集団研修・セミナー(犯罪防止、薬物犯罪取締、警察情報通信、国際捜査)」 ・我が国「人間の安全保障基金」による協力: ホンジュラス「ホンジュラス3都市における住民参加型暴力削減プログラム」(128.7万ドル、2008)、エルサルバドル「ソンソテナ県3市の市民安全改善と平和共存の推進による人間の安全保障強化プロジェクト」(240万ドル、2008) ・ユネスコ人的資源開発日本信託基金: ニカラグア「ニカラグアにおける青年の発達と暴力の防止プロジェクト」(2007-2009)、ホンジュラス「青年育成と暴力予防」(2008-2010)、ドミニカ共和国「ドミニカ共和国における若者の発達と暴力予防」(2009-2012) ・ニカラグア: 「家族とコミュニティのための社会リスク予防・ケア統合行政サービス能力強化プロジェクト」

	<p>③対人地雷除去</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2005年12月、グアテマラが地雷除去達成。 ・ニカラグアの対人地雷完全除去計画支援(2000-2006:ノンプロ見返り資金(480万ドル)にて21000個の地雷を除去)。フェーズ3-3(ノンプロ見返り資金1789万コルドバ。2008年9月~2009年7月)及びフェーズ3-4(ノンプロ見返り資金2000万コルドバ。2009年8月~2010年3月)を完了。 ・2010年4月、ニカラグアが地雷除去達成。
<p>3. 経済、開発、観光及び防災における協力</p>	<p>④小型武器削減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2005年10月、日本が資金協力したCASA小型武器データベース・プロジェクトの立ち上げによりラ米・カリブ国連平和軍縮地域センターとの協力を推進。 <p>①経済社会開発協力</p> <p>主な協力案件</p> <p>【道路・橋梁】グアテマラ「和平地域道路整備計画(有償)」(73.57億円、2005)、ニカラグア「国道7号線主要橋梁架け替え計画」(10.04億円、2005,06,07)、ホンジュラス「グアイモン橋架け替え計画」(9.9億円、2007,08,09)、ニカラグア「道路維持管理能力強化計画」(6.55億円、2010.5)、ニカラグア「サンタフェ橋建設計画」(27.53億円、2010.10)、ニカラグア「マナグア-エルラマ間橋架け替え計画(詳細設計)」(0.62億円、2010.12)、ホンジュラス「デモクラシア新橋補修計画」に関する協力準備調査を派遣(2011.3)、グアテマラ「和平地域道路整備計画(II)」(円借款 99.39億円)(2010.10)、ニカラグア「マナグア-エルラマ間橋架け替え計画」(18.78億円、2011.6)、草の根無償44件</p> <p>【保健・医療】エルサルバドル「国立ロサレス病院復旧計画」(6.3億円、2005)、ニカラグア「ボアコ病院建設計画」(14.12億円、2005,06,07)、ホンジュラス「サンフェリペ病院整備計画」(8.88億円、2007,08,09)、「中米カリブ地域／看護基礎・継続教育強化計画」(エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア、ドミニカ共2007-2010)、グアテマラ「子どもの健康プロジェクト・フェーズ2」(技プロ)(2010-2013)、ドミ共「第三保健地域母と子のプライマリーヘルスケアプロジェクト」(技プロ、3億円、2012-2016)、草の根無償95件</p> <p>【環境・水】コスタリカ「サンホセ首都圏環境改善計画(有償)」(150.01億円、2005)、ホンジュラス「テグシガルパ市緊急給水計画」(18.28億円、2007,08,09,10,11)、パナマ「パナマ市パナマ湾浄化計画(有償)」(193.71億円、2007)、エルサルバドル「上下水道公社組織強化・運営改善計画」(技プロ)(2008-2011)、コスタリカ「サンホセ首都圏環境改善のための環境教育意識向上プロジェクト」(技プロ)(2009-2010)、グアテマラ「グアテマラ国廃棄物処理行政能力強化アドバイザー」(第三国専門家)(2009-2011)、グアテマラ「首都圏水質改善のための排水統合管理プロジェクト」(技プロ)(2011)、草の根無償198件</p> <p>【貧困】ホンジュラス「貧困農民支援」(3.7億円、2007)、グアテマラ「途上国の要望を踏まえた工業用品等の供与」(3億円、2012.3)、ドミ共「地方自治体計画策定能力強化プロジェクト」(技プロ、3.1億円、2011-2015)、ホンジュラス「地方開発のための自治体能力強化プロジェクト」(技プロ、3.28億円、2011-2016)</p> <p>【都市交通】</p> <p>パナマ「パナマ・モノレールと大量都市交通ワークショップ」(JETRO、2009.10)、パナマ「インフラ・システム輸出促進調査等事業・パナマシティ3号線事業化調査」(JETRO、2011、2012)</p> <p>【エネルギー】</p> <p>グアテマラ「デカンプロ地熱発電所F/S調査」(JETRO、2005)、ホンジュラス「石油・天然ガス開発推進スキーム策定F/S調査」(JETRO、2006)、エルサルバドル「太陽熱・地熱熱水統合発電に係るF/S調査」(JETRO、2011)</p>
	<p>②人材育成・キャパシティビルディング</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでも実施してきた専門家派遣、研修員の受入等の技術協力を通じ、人材育成、キャパシティ・ビルディングに資する協力を引き続き実施(基礎教育、環境(防災、水)、医療、中小企業支援(生産性向上)、持続的 地方開発等) ・ユネスコ人的資源開発日本信託基金:グアテマラ「グアテマラにおけるバイオテクノロジー事業の実施支援」(2010-2011)

<p>③広域協力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中米域内協力網構想、中米地域別研修(初等教育、保健・医療、環境、防災、農業、治安、経済)を着実に実施。中米域内協力網構想では、シャーガス病対策支援が、グアテマラでの感染中断(2008年10月WHO承認)に大きく貢献。エルサルバドルにおいてもシャーガス病対策支援計画(フェーズⅡ 2008.03)を実施。また、「シャーガス病媒介虫対策用殺虫剤散布器・防護具供与計画」実施(見返り資金約15万ドル2010)。 ・SICA事務局に対し専門家を派遣中。 ・技術協力協定は全てのSICA諸国で発効済み。 ・広域ODAタスクフォース実施(07.3、08.5)。広域協力、対地域協力の定義づけ、当面の重点分野等につき協議。
<p>④中米統合促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・SICAに専門家を派遣中。 ・「日・中米友好橋建設計画」(6.7億円、2006.07,08,09)工事進捗中(エルサルバドル、ホンジュラス) ・エルサルバドル:「ラ・ウニオン港湾再活性化計画」(有償)(112億3300万円)09年1月に竣工式。エルサルバドル政府は、09年1月、港湾運営方式に関するコンセッション法案を議会に提出。「MEGATECラ・ウニオン校指導力向上計画」(技プロ2008-2011)、「ラ・ウニオン港浚渫計画策定計画」(円借款附帯プロジェクト2010)実施。 ・コスタリカ:「幹線道路網29橋梁に基づく橋梁復旧計画・維持管理能力向上支援」(開発調査2005)、08年には橋梁改修工事の専門家を派遣。 ・エルサルバドル:「電子政府プラットフォーム設立のためのフィージビリティ調査」を実施(開発調査2006) ・ニカラグア「サンタフェ橋建設計画」(27.53億円、2010.5)
<p>⑤経済交流活性化のための施策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・JETRO主催にて中米展開催(2005.11) ・第1回日・中米ビジネスフォーラム(2006.9 於. エルサルバドル) ・中米経済事情等調査団のパナマ訪問 ・カブラレス・エルサルバドル経済社会開発財団総裁の訪日と中米経済セミナーの実施(2007.11) ・日・中米ビジネスワークショップ(2008.10) ・地域別研修「中米・日本貿易振興のためのキャパシティ・ディベロップメント」(2006-2008) ・中米諸国のFOODEXへの出展支援(コスタリカ(2006-2009,2011-2012)、パナマ(2006-2009)、グアテマラ(2006、2012)、ニカラグア(2006,2008,2012)、エルサルバドル(2006,2007)、ドミニカ共和国(2006-2008)(JETRO) ・ニカラグア「中米地域におけるピタヤ由来天然色素輸出促進プログラム」(JETRO, 2009) ・ニカラグア「開発輸入企画実証事業・松葉籠」(JETRO, 2009) ・コスタリカ「省エネ・環境技術移転促進事業・専門家派遣及び商談会」(JETRO, 2008) ・パナマ「省エネ・環境技術移転促進事業・専門家派遣及び商談会」(JETRO, 2008) ・中米諸国でのジェトロ対日ビジネスセミナー開催(コスタリカ、グアテマラ、エルサルバドル、パナマ)(JETRO, 随時) ・コスタリカ「インフラ輸出型海外販路開拓支援プログラム(地上デジタルTV展への広報ブース出展)」(JETRO, 2011.9) ・日・中米経済交流促進ワーキングチーム(2010.1~2011.7) ・コスタリカ「地上デジタル放送導入支援アドバイザー」(専門家派遣)(2012-2014)

<p>⑥ 零細・中小企業及び裾野産業の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ドミニカ共和国:「貿易投資促進人材育成センター建設計画」実施(6.41億円、2006)。「貿易投資促進人材育成センター強化プロジェクト」実施中。 ・ニカラグア:中小企業振興(輸出・開発)アドバイザー派遣(2007) ・ホンジュラス:養蜂セクター支援の第3国専門家を派遣(2008) ・コスタリカの生産性向上センター(CEFOF)を拠点とした広域案件「中小企業の品質・生産性向上に係るファシリテーター能力向上プロジェクト」を実施(2009-2012) ・グアテマラ:「地場産業振興プロジェクト」(技プロ)(2010-2013)。「輸出促進機関AGEXPORT能力強化支援プロジェクト」(個別専門家)(2010)。 ・エルサルバドル:「中小企業育成振興計画」(技プロ)(2007-2009)。「東部地域零細農民支援」(技プロ)(2008-)
<p>⑦ 観光振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界旅行博への参加(2005(中南米テーマ)グアテマラ、コスタリカ、パナマ、ドミニカ共和国、2007エルサルバドル、2008 ドミニカ共和国、エルサルバドル、パナマ、グアテマラ(観光セミナー実施)、2009グアテマラ) ・JATA観光ミッション(2006 エルサルバドル、ホンジュラス、グアテマラ) ・インカ・マヤ・アステカ展の日本開催(2007) ・グアテマラ:「観光自治管理委員会強化プロジェクト」(2007-10) ・ドミニカ共和国:「国家エコツーリズム開発計画」(2007-08)、ドミニカ共和国「官民協力による豊かな観光地域づくりプロジェクト」(技プロ)(2009-2013)、エルサルバドルに専門家派遣(08) ・地域別研修「中南米地域持続可能な地域観光開発」(2009.2) ・地域別研修「カリコム諸国持続可能な観光開発」(2011-2013) ・エルサルバドル東部観光開発協力計画(技プロ)(2010-2013)
<p>⑧ 防災分野の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害緊急援助:エルサルバドル、グアテマラ(ハリケーンスタン2005)、ニカラグア(ハリケーンフェリックス2007)、ドミニカ共和国(熱帯暴風雨ノエル2007)、ホンジュラス(集中豪雨2008)、パナマ(集中豪雨2008)、グアテマラ及びホンジュラス(熱帯暴風雨アガサ2010)、コスタリカ(集中豪雨2010)、エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグア(熱帯性低気圧2011) ・コミュニティ防災に関する広域プロジェクト「中米広域防災能力向上計画”BOSAI”」を中米防災センターと協調して実施中(2007-2012)。 ・ベリーズ:「カリブ災害管理プロジェクト・フェーズ2」(カリブ広域技術協力)(2009-2011) ・ニカラグア:「地震に強い住居建設技術改善プロジェクト」(技プロ)(2010-2013) ・ニカラグア:「マナグア湖南部地域におけるマルチハザード調査研究」(科技協力・専門家派遣)(2010-2012) ・ホンジュラス:「首都圏地滑り防止計画(詳細設計)」(無償 0.45億円)(2010.12) ・ホンジュラス:「首都圏エル・バンブー地区地滑り応急対策」(ノンプロ見返り資金 99.6万ドル)(2010.5) ・グアテマラ:「災害対策アドバイザー」(個別専門家)(2010) ・ホンジュラス:「首都圏地滑り防止計画(本体)」(無償10.53億円)(2011.6) ・エルサルバドル:「広域防災システム整備計画」(無償4億円)(2012.5) ・ホンジュラス:「テグシガルパ市首都圏における地滑りに焦点を当てた災害地質学研究」(科学技術研修員) ・「世界防災閣僚会議in東北」の開催(2012.7) ・草の根無償:4件
<p>⑨ 漁業と養殖</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エルサルバドル:「貝類増殖開発計画」(2005-09)、「貝類種苗生産施設整備計画」(2007 見返り資金30万ドル) ・ホンジュラス:「ボルボトン村ティラピア養殖パイロット(2008 見返り資金 2.7万ドル) ・ベリーズ:「カリブ地域における漁業・水産業にかかる開発・管理マスタープラン調査」(2007) ・パナマ:「資源の持続的利用に向けたマグロ類2種の産卵生態と初期生活史に関する基礎研究」(科技協力・技プロ)(2011-2015)

4. 教育・文化交流、スポーツ交流	<p>①教育分野の協力</p> <p>②青少年交流（5年間で1000名）</p> <p>③文化交流</p> <p>④スポーツ交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の建設・改修及び教育機材の供与（一般無償・コミュニティ開発支援無償3件、草の根無償537件以上） （ニカラグア：「マナグア県基礎教育施設整備計画」（6.1億円、2005）、「リバス県、ボアコ県及びチョンターレス県基礎教育施設建設計画」（13.45億円、2005,06）、「北部地域教育施設改修及び機材整備計画」（10.16億円、2008） ・算数指導プロジェクト：ホンジュラス（フェーズⅡ 2006-11）、ドミニカ共和国（2005-10）、エルサルバドル（2006-09）、ニカラグア（2006-11、フェーズⅡ2012-2015）、グアテマラ（フェーズⅠ 2006-09、フェーズⅡ 2009-12） ・中米地域別研修「日本の教育経験」（2006-08） ・基礎教育強化（個別専門家：ホンジュラス） ・ユネスコ人的資源開発日本信託基金：ベリーズ「初等教育の教員免許推進支援」（2010-2012）、ホンジュラス「人権と開発倫理に関する大学事業」（2012-2014） <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・青年の招へいを着実に実施。2005年4月から7年間の実績累計1,435名。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・一般文化無償 19件、草の根文化無償 20件（2005年8月～2012年6月） ・日本文化週間や各種公演・デモンストレーションを実施 ・日本語教育支援（教師研修、教材購入助成、弁論大会助成、日本語学習者訪日研修） ・日本研究における支援（図書寄贈、研究者のフェローシップ、知的交流会議助成） ・テレビ番組の提供（ニカラグア、パナマ、エルサルバドル、コスタリカ）、ジャパン・ビデオ・トピックスの提供（8か国） ・日本の在外公館による教育広報を継続的に実施（2011年度はグアテマラ、コスタリカ、ホンジュラスで計10回） <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・空手専門家（コスタリカ）、剣道専門家（グアテマラ、エルサルバドル、ホンジュラス）の派遣（2005年度） ・体育、野球、合気道、空手等の青年海外協力隊及びシニア海外ボランティアを各地に20名派遣（2009・2010年度）
5. 国際場裡における協力	<p>①国連改革</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2009年2月より、国連総会非公式本会議において政府間交渉が開始され、安保理改革の早期実現に向け、加盟国間で議論が行われている。G4（日本、ブラジル、ドイツ、インド）は、2010年9月及び2011年2月に引き続き、2011年9月にG4外相会合を行い、政府間交渉への完全な支持を再確認し、他の加盟国と柔軟性の精神をもって緊密に協力するとともに、今期国連総会会期中（本年9月まで）に具体的成果を達成するためのあらゆる必要な措置を推し進める意思を表明した。

<p>②人間の安全保障</p>	<p>(1)人間の安全保障フレンズ会合を第2回以降日墨共同議長の下でこれまで7回開催。コスタリカ(第2回、第3回、第5回、第6回、第7回)、グアテマラ(第2回～第6回)、エルサルバドル(第3回～第5回、第7回)、ドミニカ共和国(第6回)、ホンジュラス(第6回)、パナマ(第7回)が参加。</p> <p>(2)2007年2月、メキシコにおいて日墨共同議長による「メキシコ人間の安全保障ワークショップ」を開催。エルサルバドル、グアテマラが参加。</p> <p>(3)人間の安全保障基金を通じた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「貧困未成年女性支援プロジェクト」(エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス:1,541,925ドル、実施期間:2005～2007) ・「ホンジュラス地方3都市における住民参加型暴力削減プログラム」(ホンジュラス:2,569,848ドル、実施期間:2008～2010) ・「ソンソナテ県3市の市民安全改善と平和共存の推進による人間の安全保障強化計画」(エルサルバドル:2,399,820ドル、実施期間:2008～2011) ・「バテイ居住者への法的支援及び基本的ニーズを満たす支援」(ドミニカ共和国:2,569,600ドル、実施期間:2012-2014) ・「アルト・ワンギー・ボカイにおける人々への脅威の減少:総合的かつ分野横断的な、異文化に配慮した人間の安全保障」(ニカラグア:3,697,282ドル、実施期間:2012～2015) <p>(4)2010年7月にコンセンサスにて採択された人間の安全保障に関する国連総会決議案に我が国と共にコスタリカ、エルサルバドル、ホンジュラスが共同提案国となった。</p>
<p>③環境保護に対する協力、資源の持続的な利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・CDMプロジェクト融資に関し、JBICと中米経済統合銀行(BCIE)は、プロモーションのためのセミナー実施(コスタリカ、ホンジュラス) ・CDMプロジェクトアドバイザー(ニカラグア2008)、CDM事業実現可能性調査及び関連人材の育成(ドミニカ共和国:開発調査) ・ドミニカ共和国:「サントドミンゴ特別区廃棄物総合管理能力強化プロジェクト」(技プロ)(2009.6-2012.6) ・ニカラグア:「住民による森林管理計画プロジェクト」(技プロ)(2006-2011) ・ホンジュラス:「北部メソアメリカ生物回廊管理プロジェクト」(第三国専門家)(2010-2012) ・ホンジュラス:「大気汚染モニタリング強化プロジェクト」(第三国専門家)(2010-2012) ・コスタリカ:「森林保全計画」(無償 7.0億円)(2010.3) ・コスタリカ:「中央太平洋保護地域の保全管理計画」(第三国専門家)(2010-2011)

<p>④気候変動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2008年5月の気候変動に係る中米・カリブ首脳会合(於. ホンジュラス・サンペドロスーラ)において、中米諸国首脳は、我が国「クールアース50」及び「クールアース推進構想」に賛意を表明(サン・ペドロスーラ宣言)。 ・省エネルギー専門家をセミナー講師としてニカラグア、パナマ、コスタリカ、ホンジュラスに派遣。 ・2009年2月、省エネルギーをテーマにSICA諸国の実務者を招聘。 ・エルサルバドル・エスカランテ環境次官(2008.3)、グアテマラ・ソベネス環境次官(2008.11)を訪日招待。 <p>＜気候変動対策分野における協力＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クールアースパートナーシップ・セミナー(コスタリカ、ニカラグア、パナマ、ベリーズ、ドミニカ(共)) ・エルサルバドル:「気候変動による自然災害対処能力向上計画」(環プロ)(2010.4) ・ニカラグア:「中米広域防災能力向上プロジェクト」(技プロ)(2009.3-2012.5) ・コスタリカ:中米域内産業センター(CEFOF)を拠点とした「中小企業の品質・生産性向上に係るファシリテーター能力向上プロジェクト」の協力内容に省エネルギーを追加予定。 ・ベリーズ:「太陽光を活用したクリーンエネルギー導入計画」(無償 5.1億円)(2009.12) ・ニカラグア:「太陽光を活用したクリーンエネルギー導入計画」(無償 10.88億円)(2010.3) ・コスタリカ:「太陽光を活用したクリーンエネルギー導入計画」(無償 8.10億円)(2010.2) ・パナマ:「パナマ運河流域における水循環への気候変動の影響」(科技協力・専門家派遣)(2010-2011) ・エルサルバドル:「公共インフラ強化のための気候変動・リスク管理戦略局支援プロジェクト」(技プロ)(2011-2013) ・再生可能エネルギー分野におけるJICAとIDBの協調融資プログラム (JICAは5年間で最大3億ドル)(2012.3) ・JBICの中米経済統合銀行(BCIE)を通じた再生可能エネルギー事業向け融資プログラム(GREEN)の開始(1億ドル)(2011.12)
<p>⑤WTO</p>	<p>ドーハ・ラウンド交渉(DDA)については、2011年末の第8回WTO閣僚会議において、DDAの一括妥結は当面見込めないことを認めつつ、部分合意、先行合意等の可能な成果を積み上げる「新たなアプローチ」を試みていくことで一致。その後、G20ロスカボス・サミット(6月)等を経て、貿易円滑化及びLDCのWTO加盟促進を中心に作業を進めていくことで一致。このうち、LDC加盟促進については、7月に加盟国間で合意に至った。また、情報技術協定(ITA)の拡大、サービス貿易の自由化について、有志国による取組が進んでいるところ。</p>